

いま西崎つばさんと話し合う 新型コロナウイルス感染症の時代 — 皆さんへの提言・私たちの意見 —

西崎つばさ

NISHIZAKI Tsubasa
<https://www.n283.com/>

1983年（昭和58年）目黒生まれ。
目黒を愛する37歳。目黒区議会議員2期。

多様性のある社会をめざす。ジェンダーとLGBT+の平等をめざす。憲法9条を守る。

向原小学校6年生で「目黒区平和の特派員」として広島市へ派遣され「平和の大事さ」と「戦争の悲惨さ」を知る。
目黒第9中学校2年生で「目黒区海外交流事業」でアメリカ・カリフォルニア州に派遣され世界の広さと異文化に開眼し、東京外国语大学英語科へ進学し学ぶ。

趣味：野球と囲碁。

好きな食べ物：カレーとビール。

感動した映画：『ペイ・フォワード 可能の王国』

愛読する作家：庄司薰。

2021年夏の東京都議会議員選挙の立憲民主党公認決定。



金井ひろし KANAI Hiroshi

1973年（昭和48年）生まれ。介護福祉士。48歳。目黒区議会議員1期。
誰もがともに学び、育ち、「共に生きる」社会をめざす。



西崎 専門家の意見をきちんと聞いて、一人ひとりが冷静に考えることができる。
実際にそうしている人びとが多いでしょう。それができなければ少しづつ安心につながります。

金井 の時代は、情報が多いのはない。それがいま目の前の怖さとしてあります。

西崎 トップリーダーは、「口では『丁寧に説明する』とは言いますが、つねに不足しています。言い逃れみたいになります。だから、みなさん一人ひとりが納得できない、判断が混乱してしまう。その混乱が人びとを分断する可能性すらある。

金井 その可能性すらある。こういう政治のやり方はもう止めないと、政治に対しての信頼感を完全に失ってしまう。ましてやコロナ禍では、人びとの命と生活を守れるはずがないと思いま

こんにちは！ 目黒区議会議員 金井ひろし です。

District Administration Report & Activity Report



号外 2021

ADDRESS 〒152-0032
東京都目黒区平町1-21-20-303
TEL : 080-5195-2909
E-mail : kanai.hi64@gmail.com
Official Web Site : kanai-hi64.com



facebook



twitter



Official Web Site



金井ひろし E-mail

新型コロナウイルス感染症の世界的まん延は、日本においても人びとの健康と生活を脅かしています。ワクチン接種が始まりましたが、その効果がまだ目に見えてこない。1週間先の状況すら予測できず、私たちの不安は高まるばかりです。こういう時代を、どう考えていいのか。一期先輩の区議会議員である西崎つばさんと話をしました。みなさんのご参考になれば幸甚です。

この対談は4月12日におこなったので状況判断のすれなどが発生する可能性がありますがご容赦ください。金井記
西崎つばさんと話をしました。みなさんのご参考になれば幸甚です。

説明の不足・情報の混乱が起きていて 一人ひとりの判断が困難になつていて

金井 今日は西崎さんと新型コロナウイルス感染症のまん延という、私たちの命と生活を脅かしているパンデミック（地球規模の大流行）について語り合い、区民のみなさんに読んでもいたいと思いました。いま4月12日ですが、日

金井 本は「第4波」の脅威にさらされていて「変異株」の感染が急激に拡大し、私たちの不安は高まるばかりです。ところが新型コロナウイルスの正体は不明という恐怖しさがあり、不安を増幅しています。

西崎 しかし今後の中期的かつ

金井 ただし一昨年暮から1年半が過ぎてわかつてきたことがあり、その部分では少し安心できている。

西崎 そう思います。

金井 しかし昨年暮から1年半が過ぎてわかつてきたことがあり、その部分では少し安心できている。

西崎 そう思います。

金井 しかもインターネット時代は、情報が多いのはない。それがいま目の前の怖さとしてあります。

西崎 ただし一昨年暮から1年半が過ぎてわかつてきたことがあり、その部分では少し安心できている。

西崎 そう思います。

金井 それでもインターネット時代は、情報が多いのはない。それがいま目の前の怖さとしてあります。

西崎 ただし一昨年暮から1年半が過ぎてわかつてきたことがあり、その部分では少し安心できている。

西崎 そう思います。

金井 しかもインターネット時代は、情報が多いのはない。それがいま目の前の怖さとしてあります。

西崎 ただし一昨年暮から1年半が過ぎてわかつてきたことがあり



西崎つばさ

スリンク・ハーリングより

一人ひとりの命が大切だ

金井　オリンピック・ハラリンピックの開催について、西崎さんはどうお考えですか。

西崎 現段階の状況では、オリンピック・パラリンピックを無事に実施できるとは、到底思えません。オリンピック・パラリンピックの意義を認めますが、いまの第4波の大波が予測され、対策がしつかりしていい段階では、一人ひとりの命を大切にするべきですから、国際イベントを開催するという政治判断は、生活者の側に立っていないと、西崎さんはどうお考えですか。

し　　その活躍を見てみたいと思います。世界中のアスリートの素晴らしい活躍を見てワクワクします。アスリートのみなさんの今日までの努力と気持ちもわかります。しかし、それは非常に残念ながら諦めざるを得ない再延期も現実的には難しい状況ですから、勇気をもって決断し、コロナ対策に集中すべきだと思います。

金井 私も同じ考えです。
ごく当たり前の市民感情として、オリンピック・パラリンピックをやるお金と力があるのなら、コロナ対策に使ってほしいと思います。

西崎 もちろん私は、池江璃花子選手の復活のニュースに感動しました

西崎 だから「東日本大震災からの復興」と「コロナに打ち勝った証」が目先のオリンピック・パラリンピックでなくともいいと思う。考え方を根底から変える想像力と柔軟性を発揮したい。

金井 オリンピック・ハラリンピックを何が何でも強行する意味を、政府は説明できていないしみなさんも実は納得できないと思う。

ントをやるために講話をみんなで始めればワクワクできるし、そこで元気が出てコロナ禍に耐えて収束させるパワーにもなる。それが世界中の人がひとの共感を集めるものであれば、日本の誇りになります。うると私は考えます。

日本はオリンピック・パラリンピックを中止するけれど、安寧な世界に戻つたら新しい国際イベントを提案して開催します」と表明すれば、世界中のひとに納得してもらえるし、私たちも辛い緊張感が解かれてホッとできると思う。

オリンピック・パラリンピックに賛成だ反対だという人ひとの意見の分断も避けられる。開催強行で予想される困難な状況も回避できる。

西崎 私は順番を待つてワクチン接種をうけたいです。家族へも勧めますが、一人ひとりの最終的な判断は、個人にまかせなしかないと思います。

だつて考えてしまつどころはあると思想います。そ
うなると接種するかしないかは、個人が個人で判断する以外に方法がないと思ひます。

金井 私も接種します
区議と介護の仕事現場へ
行きますから自己管理に
は万全をつくしたい。イン
フルエンザの予防接種
は毎年うけていますが
その長年にわたる実績が
あるワクチンと同じに考
えていいのかなと正直な
ところ考えましたが、積
極的に接種しようと決め
ました。家族へも説明し
て勧めますが、もちろん
最終的な判断は個々が
すればいいと思います。

西崎 ワクチンについて
は短期的に効果があるこ
とは科学的にわかっています
。若干の副反応がある
こともわかっています。
は長期的にはどうかと言
えば未知だという現実が
あります。したがって誰

金井 こういう判断は自己責任ではなく自己判断だと思う。社会の不当な慣習や制度を押し付けられて、それを自己責任だと言い換えてしまう理不尽さではないと思います。

西崎 ワクチン接種を考えたり迷ったりする背景には、医療体制が追いついていないという不安があると思います。だからむしろ、この不安を解決するのが政治の仕事であり、安心できる医療体制が整えば、ワクチン接種をするかしないかの判断をするときの条件がひとつ大きく増える。これぞ安心な生活をつくる政治の仕事だと私は考えています。こういう仕事をしたいと努力しています。

ワクチン接種について一人ひとりが考えて判断することが大切です



金井ひろし

A cartoon illustration of a green frog with large, bulging eyes and a wide, smiling mouth. It is positioned in the top left corner of the page.

五、行商情上、会共謀謀人、而商

こんなにちは！ 金井ひろしです。
区政・活動報告レポート号外（第3巻 2021年4月28日発行）
編集発行人：金井ひろし 〒152-0032 東京都目黒区平町1-21-20-303
TEL：03-5725-2020 E-mail：k.hiroshi@nifty.com



余井ひろし ORCA



西崎つばさ
OPコード



立憲民主黨